

**Call for Applications:**  
**Visiting Research Scholar (Team Research Organizer)**  
**2014－2015**

International Research Center for Japanese Studies

国外公募

共同研究とそれを組織する外国人研究員の公募要項  
(2014－2015)

国際日本文化研究センターでは、日本文化の広く深い研究を推進するために、さまざまな専門分野における優れた研究成果を基礎として、それらを有機的に結びつける「共同研究」方式を採っています。

本センターは、1995 年度から共同研究の課題を広く公募し、優秀な研究課題の企画者をその共同研究の代表者として、外国人研究員に迎えております。

1. 共同研究代表者の役割

研究代表者は、本センターの外国人研究員として共同研究を組織し、その推進に当たり、参加者の選定、研究計画の立案、研究会の主宰、研究成果のとりまとめ等を行います。

2. 共同研究の構成

共同研究には、本センターの教員及び日本国内に在住する研究者並びに海外共同研究員が参加します。また、本センターの専任教員が、共同研究の代表者を補佐します。

3. 共同研究会の開催場所

本センター内とします。

4. 応募資格

共同研究の代表者となる者の応募資格は 2014 年 4 月 1 日現在、満 65 歳以下で、外国の大学その他の外国の研究機関の研究者、又は、これと同等以上の研究能力があると所長が認めた者とします。

5. 募集人数

当該年度につき 2 名以内とします。

6. 研究期間

研究期間は、2014 年 4 月 1 日から 8 月 31 日までの間に着任し、着任から 1 年間とします。

## 7. 申請方法等

### (1) 申請手続

申請は、所定の様式による申請書を、提出してください。

応募の際には、共同研究の参加者を推薦してください。ただし、参加者は主として日本在住者に限ります。その中には、必ず本センター専任教員を1名以上含めてください。

申請の前に当該専任教員へ連絡してください。（「研究テーマ一覧」参照）

### (2) 応募書類

申請書のほか申請課題に関する主要業績（論文・著書）3編以内を提出してください。提出のあった応募書類は返却いたしません。

### (3) 申請期限

申請書と主要業績を 2012年1月13日までに提出してください。

### (4) 提出先

住 所：〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地

機関名：大学共同利用機関法人人間文化研究機構

国際日本文化研究センター 管理部研究協力課研究支援係

### (5) 問い合わせ先

国際日本文化研究センター 管理部研究協力課研究支援係

T E L (075)335-2044 (直通)

F A X (075)335-2092

E m a i l kyoudou@nichibun.ac.jp

なお、申請書はホームページ

([http://www.nichibun.ac.jp/number/number\\_1\\_e.html](http://www.nichibun.ac.jp/number/number_1_e.html))

よりダウンロードできます。

## 8. 採否

採否は、本センターの共同研究委員会の審査を経て所長が決定し、2012年6月30日までにその結果を所長から申請者に通知します。

## 9. 待遇

(1) 給与は給与規程に基づき経歴（経験年数）を考慮して決定され、毎月所定の日に支給されます。

(2) 赴任及び帰国に際して、旅費（エコノミークラス）が支給されます。

(3) 研究費（研究旅費を含む）が支給されます。

(4) 研究を進めるに当たり、専任教員と同様に研究室、日文研の図書館、コンピュータ等の施設・設備を利用することができます。

(5) 日文研主催のセミナー・講演会・フォーラム等で発表することができます。

(6) 宿泊施設（日文研ハウス）を利用することができます（有料）。

## 研 究 テ ー マ ー 覧

職	氏名	専門分野	研究テーマ
教授	小松和彦※1 (副所長併任)	文化人類学、民俗学、口承文芸論	東アジアにおける民俗宗教の比較研究
	井上章一 (研究調整主幹併任)	建築史、意匠論	風俗、意匠など、目に見えるものをつうじた近代日本文化史の再構成
	稲賀繁美 (研究調整主幹併任)	比較文学比較文化、文化交流史	藝術におけるモダニズムの成立過程、全球化の覇権と地域的抵抗
	早川 聞 多※3 (研究調整主幹併任)	美術史学、文化史学	与謝蕪村に関する研究、浮世絵春画に関する研究
	荒木 浩	日本文学	日本古典文学の表現と作品生成をめぐる総合的研究・日本文学研究の国際的展開とその方法
	伊 東 貴 之	中国思想史、日中比較文学・思想	中国近世思想史（宋～清）一特に清代政治思想史および清代初頭～中葉期の政治観・人間観・倫理観などを中心として、日中および東アジアの文化交渉史
	牛村 圭	比較文学、比較文化論、文明論	近現代日本の文明観の変遷
	宇野 隆夫※3	考古社会史、考古学GIS、文化財科学	ユーラシアの古代都市とシルクロード交流の研究
	笠谷 和比古※3	歴史学（日本近世史、武家社会論）	近世の国制と天皇制、武士道の思想と行動形態
	倉本 一 宏	歴史学（日本古代政治史、古記録学、平安貴族の精神世界、天皇論）	平安貴族の精神世界、古記録学
	白幡 洋三郎※2	比較文化史	屋外レクリエーションの比較文化的研究
	末木 文美士※3	仏教学、日本思想史、日本宗教史	日本思想史の中の仏教
	鈴木 貞美※1	古典評価史をあわせた日本近現代文芸史の再構築	文化諸概念・諸ジャンルの編成史
	戸部 良一※2	日本近現代史	外務省革新派、戦前日本の政軍関係
	パトリシア・フィスター	日本美術史	尼門跡と尼僧の美術
	ジョン・グリーン	日本の近世／近代史	近世／近代神社史、皇室、外交、勲章
	細川 周平	音楽学、日系ブラジル史	明治・大正の音楽
	山田 奨治	情報学、文化交流史	文化的な情報の生成・伝達・変容の研究
准教授	磯前 順一	宗教・歴史研究	贖罪と救済
	榎本 涉	日本中世史	入宗・入元僧を中心とした日中文化交流、東シナ海における海商
	郭 南 燕	日本近代文学、環境文化	志賀直哉、遠藤周作、小笠原の環境
	佐野 真由子	外交史、文化交流史、文化政策	徳川外交の連続性
	フレデリック・クレインス	日欧交渉史、科学史	17世紀ヨーロッパに普及した日本情報
	瀧井 一博	国制史、比較法史	明治立憲体制の知識社会史のかつ国際関係史的研究
	松田 利彦	歴史学	植民地朝鮮における官僚機構、戦時期日本の汎アジア主義と朝鮮
	光田 和伸	日本古典文学、比較文学、比較文化	日本人の死生観
	マルクス・リュッターマン	中・近世の日本社会史、文化史、古文書学	古代の外來書札受容及び中・近世の書札札
	森 洋久	情報工学	自律分散型空間共有アーキテクチャGLOBALBASEの開発
	劉 建輝	日中比較文学、比較文化	近代日中文化交流史

※1…2013年3月退任予定です。

※2…2014年3月退任予定です。

※3…2015年3月退任予定です。